保健だより

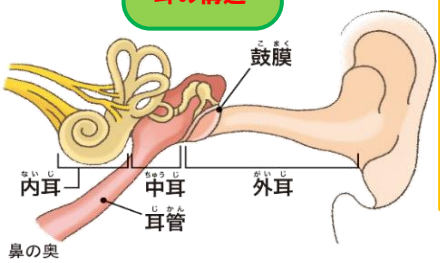
R6 年度3月号
松陽こども園

少しずつ暖かくなり、柔らかな春の日差しを感じるようになりました。いよいよ４月は進学、進級のシーズンです。子ども達はドキドキやワクワクですね。今年度も残り１か月です。体調を崩さず元気に園生活を楽しみましょう。

（耳について）

「３」は耳の形に似ていることなどから、３月３日は耳の日と言われています。子どもは耳の病気にかかりやすいので、日頃からお子様の様子をよく観察しましょう。

耳の構造



耳の仕組みは、外耳、中耳、内耳の３部に分かれています。鼻とつながっている部分は中耳です。

子どもは中耳炎になりやすいの？？

鼻水が出ているのを放っておくと、副鼻腔に溜まった鼻水がウイルスや菌が中耳に入って炎症を起こします。大人に比べて子どもは耳管が短いのですぐに、中耳炎を起こしやすいので注意が必要です。

（急性中耳炎）

発熱、耳垂れ、耳の痛みなどの症状があります。中耳にうみが溜まるので、耳を触る様子が見られます。

（滲出性中耳炎）

中耳に分泌液が溜まって、「聞こえにくい」のが症状です。聞こえが悪いので、「言葉の遅れ」や「テレビの音を大きくする」「声が大きい」などの様子があった場合は、滲出性中耳炎を疑いましょう。

＊中耳炎は「再発しやすい」や「治療に時間がかかる」「悪化すると手術が必要」などがあります。治療を途中でやめてしまうと聞こえにくくなってしまうので、完治まで根気よく治療を続けましょう。

Q：「耳かき」ってしてもいいの？
A：耳かきはする必要はありません。耳かき棒で耳垢をほじくると外耳部分を傷つけ外耳炎の原因になります。綿棒を使用すると、耳垢が耳の奥に押し込まれ、耳垢が蓋となり聞こえが悪くなります。耳の手入れは、入浴時に耳の渕をタオルで拭くや、見える部分の耳垢を取ったりする程度にしましょう。

《登降園時の交通安全》

交通事故は、保護者が近くにいる時でも起こります。園前の道路は交通量が多く、子どもが一人で歩くととても危険です。

危険

登降園時は保護者と一緒に手をつないで

登降園時、駐車場で子どもが走っていたり、玄関から飛び出したりする様子があり、とても危険です。必ず子どもと手をつないで離さないようにしましょう。また、子どもを車から降ろした直後も、子どもが一人でどこかに行かないよう注意が必要です。

危険！！

チャイルドシートを使用しましょう

６歳未満の子どもを車に乗せる場合は、チャイルドシートを使用することが法律で決められています。チャイルドシートを使用せず、事故で死亡する確率は、使用時と比較して約４倍となっています。子どもの安全を守る為にも必ず使用をお願いします。また、短時間でも子どもを車に残して大人が離れるのは大変危険です。

（乳児用）
年齢：０～１歳くらい
身長：７０㎝以下
体重：１３㎏未満

（幼児用）
年齢：１～４歳くらい
身長：６５～１００㎝
体重：９～１８㎏

（学童用）
年齢：４～１０歳くらい
身長：１３５㎝以下
体重：１５～３６㎏

予防接種の受けそびれはありませんか？

予防接種を打つ時期を逃すと、接種そびれになる率が高くなります。母子手帳で何が接種できていないか確認して、早めに接種しておきましょう。接種の期間が切れる恐れがあるものは早急にお願いします。